



COMING SOON
**大都会NYを
 のみ込む
 巨大広告の渦**

PHOTOGRAPHS BY
NATAN DVIR

大都会ニューヨークを訪れる人々を圧倒するのは、あらゆるもののスケールの大きさだ。群衆が行き交う交差点、目まがいするような摩天楼、そこから見下ろす無数の街路……。97年に初めてこの街に足を踏み入れたユダヤ人カメラマン、ナタン・ドビルの目を何より強烈に捉えたのは、万華鏡のように街を彩る無数の巨大広告だった。

08年、広告の渦はさらに大きく広がっていた。まるで商業主義の大海が街をのみ込み、覆い尽くしてしまったかのようだ。巨大広告が都市景観と共存する姿があまりに多くの場所で見られるようになったため、街を行く人々はその存在にすら気付いていないようだ。それでも多種多様な人々の視界に飛び込み、意識に迫ってくる唯一の広告媒体といえるかもしれない。

数週間で取り換えられる巨大広告に永続性がないのと同じように、その効果も限定的だ。刹那的で色彩豊かな姿は、目まぐるしく移り変わる映画のスクリーンのように、通行人は知らぬ間にその舞台の中に身を投じている。巨大広告の前ではニューヨークの人々も車も街頭の標識も、ミニチュアのフィギュアと化す。現実感の失われたその空間はしばしば私たちを惑わせる。

トミー・バハマ #01 (2012年)

Picture Power



ジュシークチュール #01 (2008年)



ザラ #01 (2008年)



ザ・ロケッツ (2012年)

ドルチェ&ガッバーナ #02 (2012年)



マッシモ・ドゥッティ (2012年)



ドルチェ&ガッバーナ #01 (2012年)

Picture Power

PHOTOGRAPHS BY NATAN DVIR

撮影: ナタン・ドビル

1972年、イスラエル生まれ。テルアビブ大学でMBA(経営学修士号)、米ニューヨークのスクール・オブ・ビジュアル・アーツの写真学科で修士号を取得。政治・経済・文化的問題の人間の側面にフォーカスする手法で、中東の難民、イスラエルの若者などを撮影した作品で注目を集め、イスラエルや欧米の有力誌で幅広く活動している。本作「カミング・スーン」の展覧会がニューヨークのアナスタシア・フォトで5月19日まで開催中